

第3次安倍政権と「管理ファシズム」熊野直樹講演会

アンケートまとめ（回答数24）

2015. 2. 14

年齢：20代（1）30代（0）40代（1）50代（6）60代（9）
70代以上（6）回答なし（1）

職業：医療関係者（11）回答なし（2）
その他（学生、教員、団体職員、議員・・・他）

1. 本日の憲法学習会について

1. 理解が深まり非常によかった（21）
2. まあまあよかった（1）
3. 期待したほどではなかった（0）
4. その他
回答なし（2）

2. 本日の憲法学習会は何でお知りになりましたか？（複数回答あり）

1. 案内チラシ・ポスター（10）
2. 知人の紹介（11）
3. 新聞（1）
4. その他（3）
回答なし（2）

3. 本日の憲法学習会—印象に残ったこと・感想

- ・ どんどんおそろしい国になっていく日本です。息子が戦争にかり出されていくことになると思うと不安で一杯です。貴重な勉強会ありがとうございました。
- ・ 「不断の努力」が必要なこと。あらためて怠り過ぎに気づかされた。
- ・ 怠廃（ママ）の始まりは、高度成長政策（池田内閣）と、私は考えている。
- ・ 「消費者民主主義」の指摘、大いに考えさせられます。
- ・ 今、何をなすべきかのご教示、考える消費者、モノ言う、社会への関わりを積極的に担う消費者は不可能ではないはずと、共感します。
- ・ 問題点を具体的に、系統的に示していただきました。
- ・ 管理ファシズムが合法的に形成されるというところが、極めてリアルでよく理解できた。
- ・ 学んでいるつもりだったのに、知らなかったことばかり！ 素晴らしい講師でした。他の会でもどんどん呼んでほしい。
- ・ アヘンの事実。ナチスの手法が改憲案にあふれているという事実。
- ・ 大変すばらしい内容でした。ぜひ多くのかたに聞いてもらいたいです。とても分かりやすく、聞きやすく、時間を忘れてしまうほどでした。
- ・ ナチスとの比較考察は、一般にはあまりないので新鮮だった。
- ・ いろいろとびっくりすることばかりで、若者や他に語りかけていこうと思っています。大変、勉強になりました。来て良かったです。たくさんの人に聞いてほしかったです。
- ・ 背筋が寒くなる思いをした。自分の子ども、若者、そして日本を護らねば。
- ・ なぜ安倍政権がここまで管理ファシズムを進めようとしているのか、垣間みることができた。
- ・ わ～わ～騒ぐことを積極的に取り組みたいと思う。
- ・ 安倍首相のめざす「国家」がいかに基本的人権をないがしろにするものであるのか、「ファシズム」の危険性についてあらためて実感しました。初めて知る事実もたくさんあり勉強になりました。憲法と平和を守る今後の運動に生かしていきたいと思えます。
- ・ 何も知らずに管理されていくことの恐ろしさを痛感しました。安倍氏を首相の座から引きずり落とせばこの動きは変わるのか、それとも安倍氏の息のかかった政治家、「有識者」そして経済団体が引き継いでいくのか、もっとウォッチしていないといけないと思いました。

- ・資料、有り難いです。学習会で広げます。(南薩九条の会にて)
- ・わ〜わ〜騒ぐぞ！ さわぐ仲間を増やしましょう！ 手をつなげましょう。
- ・言いたいこと伝わってくるが、“わ〜わ〜騒ぐ”ということはただけない。世の中を変えるには合理性、科学認識が必要ではないか。けどお終いの話は聞いたよ。面白かった。
- ・民主主義を破壊するのは、権力者と無関心な国民。
- ・自分が良ければそれで良いは、自分の不利益になる。
- ・しっかり世の中を見ていかなければ、いつのまにかあぶないことに継っていくということを学びました。草の根でしっかり伝えていくことが大事である。
- ・暖房がきいているのに寒気がしました。草の根の活動、身近な人との会話で頑張りたいと思います。
- ・「集団的自衛権」= (“他国防衛権”と表現すべきだ) ナチ学んだ“卑怯な方法”(大手マスコミ、NHKの報道は、その危険性を表している！！ 今後の政治的、外交的課題は、“対イスラム”だと言われていたことが実証されている。「2. 26事件」当時と経済的にも類似。
- ・アヘンに関連指定の話が非常に興味深く、目に見えていない、知られていないことをもっと明らかにしていかなければと思いました。いろいろあるでしょうね…
国会の無力化…これは日本のいろいろな組織で進行している。(地平戦云々…) ※大学では評議会、そして教授会が完全に変質させられてしまったことは、身にしみて感じている。
道徳の教科化の本質をしっかりと位置づけられていると感心した。
「評価」システム、「評価」をあたりまえとする「評価」国家といえるシステムと結びついていることも大切だと思う。これは私の仕事かな考えている。
「管理国家」体制=「管理ファシズム」を日常的にあたりまえとしてく環境づくりを「評価システム」が地場できりあげていっている点も重視することが大切と考えている。教師、大学人などが沈黙させられている。(熊野先生は別でしょうが)
- ・私はもっと知ろうと思いました。学んでもって声を出さないといけないと思いました。集団的自衛権には、もともと反対でしたが、今の安倍政権は本当に恐ろしいことであるということを認識できました。
また、「自分は、今だけ、カネだけ、自分だけに興味がある」という言葉にとても納得しました。
長い目で見ると必要があると思いました。